



同窓生各位

2009年7月

四国学院同窓会  
会長 岩崎啓一

四国学院創立60周年記念

## 四国学院同窓会総会・記念講演会のご案内

拝啓 皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

10月20日は四国学院創立日にあたります。母校学校法人四国学院は、2009年10月21日より新たな未来に向けてスタートし、2010年4月からメジャー制度も導入されます。

節目となる本年、四国学院同窓会は、下記のとおり学院創立60周年記念事業を開催することとなりました。同窓生の方々には、これを機会に母校に帰っていただき、当学院の歩みと、これからの四国学院大学にエールを送りつつ楽しい時間を共有したいと存じます。

ホームカミングとして、同日、支部総会、サークル等OB会の開催を設けている団体もあり、沢山の同窓生をお迎えすることを楽しみにしております。

四国学院大学卒業生の服部健二教授をお迎えし、記念講演会も開催いたします。記念講演会は一般の方もご来聴いただけます。ご友人へも是非お声をかけていただき、お誘いあわせの上、多数のご出席を賜りますようお願いいたします。

最後になりましたが、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

敬具

### 記

開催日時と会場●2009年10月17日(土) 四国学院大学講内

- |                                    |             |          |
|------------------------------------|-------------|----------|
| 第1部=記念講演会                          | 13:00~14:00 | 7号館711教室 |
| 講師 服部 健二 立命館大学教授「大学の今と昔、哲学教師の現場から」 |             |          |
| 第2部=同窓会全体総会                        | 14:20~15:00 | 7号館711教室 |
| 第3部=懇親会                            | 15:00~16:30 | 学生会館     |

懇親会会費●3,000円

駐 車 場●お車でお越しの方は、四国学院大学内駐車場をご利用ください。

申 込 締 切●2009年9月15日(火) ①同封のハガキまたは②E-mail rogosu@sg-u.ac.jp迄

お 問 合 せ●四国学院同窓会事務局 0120-459500 E-mail rogosu@sg-u.ac.jp

岡山県支部会員(岡山県在住)の皆様へ

岡山県支部役員一同  
支部長 横山芳彦

## 岡山県支部総会開催のご案内

岡山県支部総会を四国学院創立60周年記念事業に併せて、下記のとおり開催することいたしました。  
岡山駅から大学間をバスが送迎いたします。是非ご利用いただき多数のご参加をお待ちしております。

「岡山県支部総会」2009年10月17日(土)12:00~12:40 四国学院大学内

- 岡山県支部総会出欠届 同封の「四国学院創立60周年記念事業出欠届」の下記に併せてご記入ください。
- 申込締切 2009年9月15日(火)
- 送迎バス希望者 完全予約制/定員45名、先着順  
・バス停留場所 JR岡山駅西口 時間厳守  
・バス希望者会費 2,000円/バス代+昼食代

行き	JR岡山駅西口発(9:00)⇒讃岐うどんて軽く昼食(10:30)⇒大学正門着(11:30)
帰り	大学正門発(17:30)⇒JR岡山駅西口着(18:30)

お問合せ：四国学院同窓会事務局 ☎ 0120-459-500

## 「四国学院同窓会同窓生子弟・兄弟姉妹入学金支援制度」について お知らせ

2010年度入学生から「四国学院同窓会同窓生子弟・兄弟姉妹入学金支援制度」が四国学院大学のご支援により、設立されることになりました。

一人でも多くの同窓生のご子弟また関係者様が母校を同じくすることを願っております。

### ◆「四国学院同窓会同窓生子弟・兄弟姉妹入学金支援制度」について

- 1.内 容 / 四国学院同窓生本人、同窓生本人の父母・子・兄弟姉妹・祖父母・孫が入学する場合、入学金を全額免除する。
- 2.制度開始 / 2010年4月入学生から
- 3.手 続 き / 申請については、事前に認定手続きが必要ですので、詳細については下記へお問合せください。

<お問合せ> 「四国学院同窓会事務局」〒765-0013善通寺市文京町3-2-23 ☎ 0120-459-500

## 同窓会事務局からのお願い

### ● ロゴス館の利用 ●

同窓会やご家族様との旅行の宿としてもご利用になれます。  
10月17日の同窓会総会・岡山県支部総会にご出席の方、大歓迎です。  
同窓会のホームページからもお申込みになれます。

### ● 住所変更 ●

転勤、結婚等で住所や氏名の変更がある場合、必ずご自身で届出をしてください。

### ● 同窓会のホームページ ●

同窓会、大学の情報発信をしていきます。サークル等OB会の案内も載せてみてはいかがでしょうか？

支部総会のご報告

**徳島県**  
支部

支部長 森田昌治さん  
(1979年度 社会福祉学科卒業)

2008年6月14日午後1時半から3時、ホテルグランドパレスにて、末吉四国学院学長、岩崎同窓会会長の両氏にご臨席頂き、徳島県支部総会を開催致しました。

今回、役員の出選について今まで支部結成以来、大きな原動力となって支部を引っ張ってくださった岩脇支部長が退任され、新たな役員構成にて活動を継続してゆくこととなりました。(以前より少し、若くなったような気がします)

その後、事業報告、会計報告と順調に議事も進行し、予定通りの時間にスムーズに終わることができました。総会終了後は、田尾四国学院大学教授による講演会「讃岐うどんブームのプロモーション」があり、軽妙な語りの中にも香川のうどんブームの火付けとなったきっかけの活動の仕掛けや舞台裏のご苦労や努力のお話を、興味深く伺うことができました。

今回の講演は、誰にも聞きやすいテーマという企画だったので、こちらの意図そのままの良いお話だったように思いました。

**香川県**  
支部

支部長 牧本憲尚さん  
(1977年度 社会福祉学科卒業)

日頃は、同窓会活動に深いご理解、ご協力を賜りありがとうございます。

2008年7月12日(土)「オークラホテル丸亀」を会場に、2006年6月香川西部支部及び高松支部が合併して香川県支部として初めての総会開催となりました。

当日は、学院から末吉学長、神野、漆原両副学長と岩崎同窓会新会長、本部役員の方々のご臨席を賜り、役員改選及び支部幹事を選出し若い方達の参加もいただき盛大に開催することができました。今回も出席者集めのために各幹事の方々が奔走してくださいましたが、種々の事情により多くの方々へ出席していただくことができませんでした。毎回感じるのですが、できるだけ多くの方の出席をいただくことが今後の課題でもあります。

今年は学院創立60周年を迎えることとなります。卒業生の皆様一度ホームカミングをされてはどうですか? 新図書館・アクションプラザ棟・ホス館によりキャンパス風景も一変しております。

今後は、学院のお膝元で最大数の卒業生を抱える香川県支部が中心となり、新役員が協力しながら、支部活動の充実、支部会員相互の親睦を図り、私達の学院が生き残る為に同窓会が貢献できることは何か皆で考えていきたいと思っています。卒業生の積極的なご参加とご協力をお願い致します。



**愛媛県**  
支部

支部長 河野 正さん  
(1976年度 人文学科卒業)

2008年8月9日(土)午後3時から、松山市道後の「にぎたつ会館」におきまして、テレビ等で活躍の忠政啓文氏(元全日本競歩選手権優勝者・健康運動指導士)により記念講演と愛媛県支部同窓会が行なわれました。忠政さんの記念講演は「簡単なようで奥が深い知られざる? 「歩く」秘密」と題して、約1時間30分行なわれました。講演は、「歩くことの楽しさや健康法」が中心の興味深い内容で、一般人を含めた多数の参加者に、「正しい歩き方」について、身体を動かしながらの実践的な指導もしていただきました。

また、同窓会には、1964年度の卒業生から2007年度の卒業生までの半世紀に及ぶ同窓生が約40名参加し、友好を深め、有意義で楽しい一時を過ごすことができました。

愛媛県支部の同窓会は、2年に1度開催しております。

今後も、愛媛県在住の同窓生との親睦を深め、広く情報交換を行ないながら絆が深まればと思っております。今回残念ながら参加できなかった方には、是非次回の参加をお待ちしております。



**関東**  
支部

支部長 山田昭和さん  
(1960年度 英語科卒業)

2008年11月15日(土)、145年の歴史がある新宿の北京ダックのお店「全聚徳」で第9回支部総会を開催しました。石丸新前学長のお祝辞を頂き、また同時に建学時から奉職され長期間学長を勤められた得永新太郎先生が天に召されたことと、葬儀礼拝の様子の報告、とともに学院の一つの時代が去った...という先生の強い思いが伝えられました。

関東支部は基督教学園時代の先輩が参加(常時4~5名)する唯一の支部です。学院は今、新しい時代の激しい波を受けるとともに、建学の精神を再び問われています。

「その10人のためにわたしは滅ぼさない」とアブラハムに約束された神が、そのツォアル(小さい)と名づけられた学院を残してくださいるように祈ります。Spiritualityの伝承は一人一人の祈りとLogosしかありません。同窓会館(ロゴス館)を中心とした場の発展を祈ります。関東支部会は毎回20名から30名が参加します。今年は11月21日(土)です。前回と同じ「全聚徳」で開催します。今回は関東支部総会の開催から10回目の記念すべき年となります。関東支部会員の皆様始め、本部役員・各支部の皆様のご参加をお待ちしております。よろしく願いいたします。



**ミニ**  
同窓会  
開催

4月に高知・岡山、5月に松山、6月に徳島・福山・高松において、同窓会支部のある主要地域で支部役員とその関係者にお集まりいただき、ミニ同窓会を開催しました。

四国学院大学から末吉高明学長、杉本孝作副学長、漆原光徳副学長、菅照昌常務理事にもご出席いただき、大学の様子や2010年度から導入されるメジャー制等についての話をしていただきました。

# ●●● ウェルカム ホームカミング ●●●

## 基督教科OB会

### 四国学院短期大学卒業生の集い

#### あのころの熱い想いをもう一度

過去のうれしさを 私にこんなに大きく見せるのは  
それは悲しみの霧なのか 今の侘しい身の上が  
過去を浮き彫りにして見せるのか  
テニス(イン・メモリアム)

半世紀も会わなかった友と、大麻山を仰ぐ緑の芝生敷く  
キャンパスで再会できたのは神の御手の業と感謝したい。

数名の親しい者たちを天に送った悼みと共に、昔の面影を  
今に残す同輩の美しい白髪が過ぎ去った日々をよこび色に  
染めつける。喜びも悲しみも光と化して今ある幸を互いに寿ぎあった。

師を含めて15名が『菜を里』に会し、芝生に遊び、歌いまた語り合ったあの日々を今宵のまどいに再現させてく  
ださった。

誰も己の美点を誇ろうとはしない。「おれは美しい馬を持っている」と神から与えられたものを素直に喜んでいる様は  
一輪の花を喜ぶ貧しい信徒に似ている。

互いに大成はしなかったが、清浄な喜びに満たされて嬉しかった。

私たち同じ涙を流しつつ、人の世のさだめを終えて、すべてが光に包まれた今、悲しみの霧も、せつなさに泣いた侘し  
さも、もう忘れかけている。

手を組み交わし「ありがとう」と神への感謝が友に語られる。

祝福に満ちた月日の結びが 今見えようとしている。

丸畑幸夫 さん  
(1961年度 基督教科卒業)



## ロゴス館4.5月利用者紹介

年間約700名の同窓生の利用があります。

1. 利用した人(団体)
2. ロゴス館を利用して集まった理由
3. 60周年に寄せて

1. 岡本孝三さん(1972年度人文学科卒業)と家族3名

2. 今年のゴールデンウィークに子供達の仕事の休みと、  
小生の休みとが合致したので、小生の永年の夢だった  
四国への観光旅行に利用させていただきました。

3. 創立60周年おめでとうございます。この度機会があ  
り、4月末～5月初めの休日に、38年振りに学院を訪  
れることが出来ました。学院は大きく変貌しているの  
に驚きましたが、その変貌している中にも小生の在学  
当時の面影を見つ  
けることが出来懐かし  
く当時の想いに浸る  
ことが出来ました。  
これからは事情が許  
せば、1～2年に一度  
の学院へのホームカ  
ミングをしたいもの  
です……。



1. 卓球部OB会 代表中川さん(1972年度人文学科  
卒業)と約50名

2. 卓球部のOB戦(年2回春と秋)に卓球を行い、夜ロゴ  
ス館の食堂を利用して現役とOBが卓球の話や人生  
の話をして、心を通わしています。

3. 学生時代は、卓球、勉学(?)と情熱を燃やしました。  
キャンパスをランニングした思いは、ロゴス館に宿泊  
した時になつかしく思います。本年5月に行われた  
OB戦のあとに、元顧  
問の山中巖先生に会  
え、なつかしく思いま  
した。



1. 元自閉症研究会たんぽぽ代表 平尾昂さん  
(2004年度応用社会学科卒業)と友人8名

2. カナダ留学をする友人の壮行会に集まりました。

3. 四国学院大学で本当によい友人に出会えました。卒業して何年かたって全員が、それぞれ違った道を歩んでいるのにみんな違う県で暮らしているというのに集まるといつも大学時代にもどる事ができます。まるで、「サマータイムマシンブルース」のタイムマシンのように。



1. ぼんマスを囲む会 代表加芝洋二さん  
(1994年度社会福祉学科卒業)

2. 学生時代にアルバイトをしていた居酒屋「ぼん」のマスターに会いに、様々な年代で集まりました。

3. 自分達が過ごしていた大学の懐かしい校舎やグリーンベルトを見ると、四国学院だからこそ、学科を越えて「人のつながり」ができたことを思い出しました。今もこうして卒業生が集まれる場所があることを感謝します。



1. 鈴木共さん(1992年度英文学科卒業)と親族と友人  
25名

2. 結婚式の為親族と友人が集まり、チャペルで式、生協で茶話会をして、夜宿泊と交わりの場にロゴス館を利用させていただきました。

3. 学内を歩くとあちこちでの思い出がなつかしく思い出せまして、今日は特にその中でも思い出深いチャペルで式をあげることができて本当にうれしかったです。



1. 篠原大さん(2007年度社会福祉学科卒)と友人

2. 友人と学生時代の思い出を語るため利用させていただきました。

3. ロゴスで過ごす時間は学生時代に戻ったような気持ちになれます。



1. 舛田康司さん(2002年度人文学科卒業)

2. GW 香川に旅行に来たので、利用させていただきました。

3. 大学4年間、本当に良い経験をしました。人生、巻き戻しが可能なら、大学時代に戻りたいくらいです。

1. 滝口さん(2001年度応用社会学科卒業)と友人4名

2. 遠方で生活している友人と、夜遅くまでゆっくり話したり、翌日県内を観光するのに最適で、利用させていただいています。

3. 大学近くのお店で後輩にあたる学生がアルバイトをしていた。私の在学中にはなかった学科を履修していると聞いて、大学のますます発展を見守っていきたいと感じました。

1. 兵頭恵美子さん(1963年度英語科卒業)と友人3名

2. 友人と金毘羅さんに観光しに来たので利用させていただきました。

3. 45年振りに訪れ大学が充実発展している様子が伺えてうれしいと思いました。帰宅して大学祭の写真を見ながら、同窓生の方々はどうしていらっしゃるのかと?若き日を思い出しました。

1. 小田原洋子さん 首藤義子さん 植村嶺子さん  
浜川富子さん (1963年度英語科卒業)

2. 秋田在住の先輩が、同窓会で善通寺に来られた機会に、後輩グループである我々も、集まりました。

3. 夜、ライトアップされた五重の塔や、先輩の下宿あたり、花おか(マスターが今も健在なのに感激)など街歩きを楽しみ45年の過ぎ去った年月の長さを忘れる、ひとときでした。(先輩が下宿に戻って押入れをあけると、街のレコード店のビクターの犬が首をかき上げて座っていた...という仲間うちでは有名なエピソードのある下宿です)

## 同窓生インタビュー

～ 全国アビリンピック出場～

山本義文さん  
(1976年度 社会福祉学科卒業)

### 1 大学生活で今一番に何を思い出されますか？

1972年社会福祉学科に入学しました。入るまでずっと専門学校の中で過ごしてきたのであり、インテグレーションなどとは一切無関係で、家族を除いて、周りと同じ障害を持った者ばかりで狭くて閉鎖的な環境の中に生活してきたが、いきなり別の世界に一人が入ったような感覚があって、戸惑いだけが大きく広がってありました。大学にとって初めての聴覚障害者なので、迷惑をかけてばかりいたような気がします。回りは健聴者オンリーで、コミュニケーションに苦労しました

ことが今でも胸の底に残っています。

楽しかったことといえば、ノートを取ってくれる者たちとの交流を通じて視界が広がって社会や人生などを考えさせて頂いたことでした。時間が空いた時、絵を描くとか、旅行をするなどかなり好きなことをして楽しんでいました。



### 2 卒業後の就職についてお聞かせください。またはDTPとはどのような仕事でしょうか？

希望通りの仕事に就くことが出来なかったが、自分の障害を考えて自分なりに、コミュニケーション不要の仕事を探してみました。専門学校で身につけた技能を生かすような、視覚を有用する版下制作に係わるようになりました。始めは写植で、電算写植を経て20年前からパソコンで版下制作をするようになり、それがDTPでした。

DTPは、書籍、新聞など出版物の編集に際して行う割り付けなどの作業をコンピュータ上でを行い、プリンタで出力を行うことです。10年ほど前から印刷業界が構造不況に陥り、人減らしの嵐が吹き荒れていた時、紙に代

わるものとして、電子に着眼し、ワード、エクセル、アクセス等のオフィスソフトを用いて色々な試みをする最中、リストラに合い、20年間勤めた印刷会社を退職しました。仕事探しの意味を込めて、せっかく勉強し始めたことをさらに向上したく、障害者職業センターで更に磨いていました。そして、専門学校時代の恩師の紹介で、銀行の後方支援(データ入力中心のパソコンオペレーター)として再就職しました。これは全国アビリンピック(障がい者技能競技大会)に出場することにつながるのでもあります。

### 3 全国障がい者技能競技大会についてお聞かせください。

全国障がい者技能競技大会に出場するきっかけといえ、銀行に入行して数年たった頃、香川県障害者技能競技大会改めて「アビリンピックかがわ」になってパソコン関連の競技が多く設けられるようになりましたが、1回目の時はまったく知らなかったが、2回目になると、職場の上司から参加してみてもと勧められて仕事柄でデータベース部門に出場したが、銀賞でした。その時のアンケートに印刷会社で仕事をしていたことを記入して、畑違いのDTPを設けてほしいと希望したら翌年の第3回にDTP部門を新しく設けられたのを機に応募して、参加して金賞入賞できました。そして香川県代表として、おりしも地元香川で開かれた全国アビリンピックに出場しました。以後3年連続金賞入賞でした

が、全国アビリンピックに2回出場したにもかかわらず入賞できなかったのです。

このDTP競技では、レイアウトや文字の組み方、効果的なイラストレーションの挿入など多くの人々の目を向けさせる工夫が必要となります。企画力や創造力に重点を置き、既定の条件を守ってアイデアを盛り込んで効果的な作品を制作するかが競技のポイントです。



### 4 大学や今の学生に対して、また友人に向けて、何か思うこと伝えたいことはありますか？

どんな扱いであっても、就職先で課せられた役割(仕事)を確実に果たすことが必要であり、または自ら行動を起こさない限り、誰も見向きもしないのです。そして、絶えず自己研鑽を続けることです。

もちろん、障害者雇用促進法を無視することはできないものの、自分にも出来ることを主張したり積極的なアプローチを試みたりしながら、自分の存在感をア

ピールしていくことが肝心です。

先の全国アビリンピックで思うには、どの種目でも年々レベルが上がってきています。時間的な制約で1つの部門のみ参加したが、複数種目参加が可能ならば、仕事柄で参加するであろうデータベース部門は、入門書レベルを超えて、プログラミング的な技法も必要になって来ています。せめて10年若返りでもして再び勉強したいと思ったくらいです。

## 同窓生からのお便り



四国学院大学教授 清水幸一さん  
(1980年度 社会福祉学科卒業)

私は1981年3月文学部社会福祉学科を卒業後、大阪YMCAやシンガポールYMCAの社会教育現場で25年間働きました。その後、現場経験を体系的に研究するために大阪体育大学大学院でスポーツ科学を専攻、この4月から教員(総合教育研究センター教授)として母校に戻ることを許されました。大学では、体育・スポーツ関係の授業を中心に、私自身の専門である野外教育の授業も担当しています。

学生たちに、知識を単に伝達する知識伝達型の授業ではなく、体験を通して学ぶ学習者主体の授業を私なりに展開しています。また、私自身が四国学院大学で新しい命を頂いたキリスト教を伝えていく努力と、人と人との交わりの素晴らしさも伝えていきたいと願っています。

今、同窓会はホームカミングとして、同窓生のみなさまがまた大学へ帰ってきてもらうことを期待しています。私も関係者として、体育連絡会OB・OG会設立の準備を手伝っていただいています。体育系クラブで青春を過ごされた方、是非、会員になって下さい。クラブ間の縦の関係だけでなく、クラブは違っても一緒に汗を流した同窓生のみなさまの横の関係が、また構築できるようなOB・OG会を目指すつもりです。

10月17日に同窓会が開催する四国学院創立60周年記念事業に併せて、

体育連絡会OB・OG会設立総会を開催します。また、設立総会を行うための準備会を8月22日ロゴス館にて行います。OB・OG会設立を手伝っていただける方は、まず清水へご一報下さい。

詳しくは同窓会のホームページをご覧ください。

また、私が顧問をしているバドミントン部では、上手い下手は関係なく生涯スポーツとして、学生時代に熱中したバドミントンを同窓生の方に残っていたきたいとの願いから、現役とOB・OGの人たちとの合同練習会をスタートさせました。バドミントン部OB・OGの方も清水へご一報下さい。

同窓生として、また教員として、みなさまと大学との橋渡しのような役割をさせていただければと望んでいます。何かあれば、私のメールアドレスに連絡をいただければ幸いです。同窓生の皆様に、また青春を過ごした四国学院大学に帰ってきていただきたいと心から願っています。どうぞ、よろしくお願い致します。

### 記

#### ◆体育連絡会OB・OG会設立委員会(準備会)

1.開催/2009年8月22日(土曜日)夕方 2.会場/ロゴス館

#### ◆体育連絡会OB・OG会設立総会

1.開催/2009年10月17日(土曜日) 2.会場/四国学院大学内

●お問合せ、申込は清水まで Mail: kshimizu@sg-u.ac.jp Tel:0877-62-2111(内線440)

## 只今、活動中!!学生の部活動紹介

現在、体育系クラブ・サークル22団体、文化系31団体があります。今回は、中でも歴史ある団体のご紹介です。

### バドミントン部 子ども福祉学科3年 前田沙紀さん

私達バドミントン部は、部員は現在、男子6名、女子5名の11名で活動しています。

毎日、男女共に練習をし、昨年の試合では、四国インカレでは、男子団体3位、女子はダブルス、シングルスがベスト4という成績を残せました。



今年も、もう少しで中四国大会とインカレの試合があります。昨年と同様に精一杯力を出しきり、昨年より少しでも、上位を目指して頑張っていこうと日々の練習もしています。

先日、同窓生との交流もあり、更に頑張ろうという気持ちにもなりました。また機会がある時は、先輩方との交流を大切にしていきたいと思っておりますので、どうぞおかわりのない応援をよろしくお願いいたします。

### コーラス部 子ども福祉学科4年 土倉征子さん



コーラス部は、現在部員3名(内、科目履修生1名)で活動しております。在学学生2名も4年生ということで、目下部員獲得を目指しています。しかし、なかなか足を踏み入れてくれる若者はいません。しかし、我々3名、コーラスへの情熱は、OB諸氏の方々に負けぬものを持っていると自負しております。

入学式、卒業式、サークル紹介や、学祭のサークルステージ出来得限りの活動をして一人でも多くの仲間を増やし、コーラスの輪を絶やさないようにしていきます。みなさま応援のほどよろしくお願いいたします。

### 軽音楽部 教育学科3年 林 晃央さん

私たち軽音楽部は、部員数が50人を超える大きな部で毎日楽しく活動しています。部員同士でバンドを組み、朝6時から夜11時までの間の好きな時間に、ライブやイベントに向けて練習しています。1年間の主な活動としては、6月の新入生歓迎ライブ、11月の四学祭、12月のクリスマスライブ、2月の卒業生追出しライブ、そして不定期で部室ライブをしています。

そして、今年から5月と11月に開かれるサークルステージに出演しました。少しずつではありますが、活動の場所を学内から学外にできるように地域イベントへの参加や、オリジナルの曲を作ってライブハウスに出場する部員もいます。

今年も多くの新入生が入部し、より一層部が活性化できるようにがんばっていきたくと思っています。

### ソフトテニス部 教育学科3年 岡野祐紀さん

私たちソフトテニス部は、現在、男子11名、女子3名の計14名で活動しています。今年は、1年生が5人も入り、とても賑やかにテニスをする事ができています。

現在、私たちは、インカレ四国予選に向けて練習をしています。5ペア必要な団体戦にも4ペアしかおらず、4ペア中3ペアが勝たなければ勝つことができないという、厳しい状況ではありますが、少しでも多く勝つことを目標に日々練習しています。春と秋にはOB戦も行っているため、是非参加していただけたら嬉しいです。



### 編集後記



ロゴスだよりをご覧の皆様、今回は会報と大学案内を共に卒業生全員にお届け致します。編集に携わり、11年の月日が経ち、偶然にも四国学院を志望する娘が、今春入学。(2010年度スタートの子弟入学支援制度には、少し間に合わず残念。)親子2代で、大学の共通の話に花を咲かせる毎日です。これから入学される方には、将来の同窓会の発展のためにも、この支援制度の恩恵を受けられればと思います。

会報委員 飛田(千秋)由香(1983年度 英語科卒業)

決められたコースより、  
オーダーメイドの学びを見つけられる  
個性豊かな大学へ。

四国学院大学は変わります。

大学への進学で何を学び、何を身につけたいか。  
それは、偏差値やブランドで決めるものではないはず。  
より有意義で、より付加価値の高い学びとは・・・。  
学生たちの未来につながる学びのスタイルを目指して、  
四国学院大学は、リベラルアーツに基づいた  
メジャー制度をスタートさせます。

# 四国学院大学

Shikoku Gakuin University  
Campus Guide

文学  
哲学  
歴史学・地理学  
英語  
平和学  
学校教育  
社会福祉学  
心理学・カウンセリング  
地域社会と福祉実践  
こころとからだの福祉  
子ども福祉  
スクールソーシャルワーク  
社会学  
メディア&サブカルチャー研究  
観光学  
身体表現と舞台芸術マネジメント  
国際文化マネジメント  
情報加工学  
ベースボール科学  
健康・スポーツ科学

19  
+  
Major

1  
Minor  
19メジャー＋1マイナー